

科目名	Planning Basic(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	はじめに ～ 企画って何？	音楽事業者協会と音楽制作者連盟 についての調査を行う
2	4月28日	講義・演習	企画は誰の為を理解する	レポート
3	5月12日	講義・演習	会場について理解する	“公益社団法人 全国公立文化施設協会 についての調査を行う”
4	5月19日	講義・演習	5W1Hを理解する	レポート
5	6月2日	講義・演習	打合せとレジユメを理解する	レポート
6	6月9日	講義・演習	メディアとプロモーションを理解する	レポート
7	6月16日	講義・演習	ホームページとSNSを理解する	レポート
8	6月23日	講義・演習	マーケットについて知る	レポート
9	6月30日	講義・演習	売れてるヒットチャートを理解する	レポート
10	7月7日	講義・演習	スタッフについて知る	レポート
11	7月14日	講義・演習	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	レポート
12	7月21日	講義・演習	イベントのビジネスモデルを知る	レポート
13	8月25日	講義・演習	企画立案しプレゼンする	レポート
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
15	9月22日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Basic (2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	企画項目を整理する	レポート
2	10月13日	講義・演習	企画書作成の準備をする・1	アーティストの調査レポート
3	10月20日	講義・演習	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルの調査レポート
4	10月27日	講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	夏フェスティバルの調査レポート
5	11月17日	講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6	11月24日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) ホール編を学ぶ	全国のホールを調査する
7	12月1日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) ライブハウス編を学ぶ	全国のホールを調査する
8	12月8日	講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する) アリーナスタジアム編を学ぶ	全国のホールを調査する
9	12月15日	講義・演習	イベント企画の研究する	オリンピックについて調査する
10	12月22日	講義・演習	イベントと法規を学ぶ	消防申請について調査する
11	1月12日	講義・演習	単体イベントとツアーの違いを理解する	クリスマスツアーの調査レポート
12	1月19日	講義・演習	ツアーの企画を立案する	交通インフラの調査レポート
13	1月26日	講義・演習	イベントのスタイルとビジネスモデルを学ぶ	ACPCの資料を検証レポート
14	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	準備レポートの提出
15	2月23日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	実施レポートの作成
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見千尋 根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	興行の舞台監督び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。 チーム内&他セクションとのコミュニケーションを大切にして、やるべき事をチームで進めていくことが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	チーム編成、スケジュールの確認など イベント制作における必要物について学ぶ	チームの為の資料作成(ワークシート)
2	4月27日	講義・演習	イベントの概念と概要書 主催について理解する	チームごとに担当イベントの概要書作成 (ワークシート)
3	5月12日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの仕組み 次回イベントのミーティングを理解する	バンド イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
4	5月18日	講義・演習	ホール資料をもとに運営プランを考える 学内イベント対応を学ぶ	オムニバスLIVEの資料制作 (ワークシート)
5	6月1日	講義・演習	基本的な舞台知識について 舞台の機構や物の名称(照明)を理解する	舞台用語についての課題(ワークシート)
6	6月8日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの使い方 舞台の流れ、段取りについて理解できる	外部ホールの構造理解 (ワークシート)
7	6月15日	講義・演習	イベントのタイムテーブルを理解する	課題イベントのタイムテーブル作成(ワークシート)
8	6月22日	講義・演習	外部ホールでの運営について イベントの企画立案についてを理解できる	外部ホールでの運営マニュアル作成(ワークシート)
9	6月29日	講義・演習	図面について(使い方、作成方法)を習得する	課題イベントの図面を作成する(ワークシート)
10	7月6日	講義・演習	外部ホールでの打ち合わせについて 次回イベントについてのミーティングを理解する	次回イベントの資料作成(ワークシート)
11	7月13日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング 本番の進行について理解する	自由企画の資料を作成する(ワークシート)
12	7月20日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング リハーサルについて理解する	LIVEイベントの資料作成(ワークシート)
13	8月24日	講義・演習	定期テスト(舞台、運営について)	課題イベントの進行表を作成する(ワークシート)
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポート
15	9月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江見千尋 根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	興行の舞台監督び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。 チーム内&他セクションとのコミュニケーションを大切にして、やるべき事をチームで進めていくことが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	スケジュールの確認など 前期の振り返り/次回イベントに関するミーティングを学ぶ	イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
2	10月12日	講義・演習	学内イベント対応 LIVEイベントのプロモーションについて理解できる	LIVEの事前ミーティング (ワークシート)
3	10月19日	講義・演習	企画のコンセプトについて考える事ができる	LIVEの資料作成 (ワークシート)
4	10月26日	講義・演習	イベントの動員について理解する	次回イベントの資料作成 (ワークシート)
5	11月16日	講義・演習	外部イベント対応/次回イベントについてミーティング 運営について…役割分担の重要性を理解する	イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
6	11月23日	講義・演習	学内イベント対応 運営マニュアルの作成について理解する事ができる	進級制作展の運営マニュアル作成 (ワークシート)
7	11月30日	講義・演習	次回イベントについてのミーティング チケット業務についてを学ぶ	次回イベントの資料作成 (ワークシート)
8	12月7日	講義・演習	学内イベント対応 外部ライブハウスでの運営業務についてを理解する	オリジナルイベントの企画作成 (ワークシート)
9	12月14日	講義・演習	進級制作展の事前ミーティング方法を理解する	資料制作(制作資料・運営資料) (ワークシート)
10	12月21日	講義・演習	進級制作展 終了報告会を行うことができる	進級制作展 終了報告書 (ワークシート)
11	1月11日	講義・演習	進行台本を理解する事ができる	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料) (ワークシート)
12	1月18日	講義・演習	学内イベント対応 外部ホールでの運営業務について考える事ができる	次回外部ホールでのイベントの資料作成 (ワークシート)
13	1月25日	講義・演習	定期テスト(進行、制作、運営について)	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料) (ワークシート)
14	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポート
15	2月22日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して運営業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	齋藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	興行の企画及び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMIには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション・業界の仕事を理解する	レポート
2	4月26日	講義・演習	学園祭の仕事・組織・作業工程を理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月10日	講義・演習	企画とSWIH・学園祭の企画書の立案できるようになる	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月17日	講義・演習	学園祭の企画書に基づきゲストアーティストの選別 ・制作業務を理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の 製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	学園祭の企画書に基づきゲストアーティストの選別 ・制作業務 ・進捗報告と対策できるようになる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
6	6月7日	講義・演習	学園祭準備(進捗報告と対策を考案することができる)	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
7	6月14日	講義・演習	学園祭の反省会(バラシ作業?)を通して 仕事を理解する	レポート
8	6月21日	講義・演習	コンセプトとは(それぞれの立場からの狙い)を 理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月28日	講義・演習	プロジェクト管理と作業工程を知ることができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月5日	講義・演習	宣伝とマーケティングを理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月12日	講義・演習	後期イベントの仕事・組織・作業工程の確認及び 説明ができるようになる	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月19日	講義・演習	前期の振り返り及びテスト	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月23日	講義・演習	前期講義の振り返り及びテストの振り返り	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(1) イベント企画B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作、イベント制作の業務に携わる。						
授業の学習 内容	①公演を行う準備の手順を知る。 ②学校イベントを制作するために必要な情報を収集し、資料を作成する。 イベント当日を滞りなく進めるために、仲間と協力しイベント全体を支える。 ③						
到達目標	チーム内、他セクションとのコミュニケーションを大切に、1つのイベントを作り上げる大変さや喜びを知る。 1 つ先のことを見据え、考えながら行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	学園祭①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集 レポート
2	4月26日	講義・演習	学園祭②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
3	5月10日	講義・演習	学園祭③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
4	5月17日	講義・演習	学園祭④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
5	5月31日	講義・演習	学園祭⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備レポート
6	6月7日	講義・演習	学園祭⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集レポート
7	6月14日	講義・演習	学園祭報告会/チーム内外全ての出来事を把握する	資料整理(まとめ)、レポート提出
8	6月21日	講義・演習	ホール実習①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集レポート
9	6月28日	講義・演習	ホール実習②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
10	7月5日	講義・演習	ホール実習③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
11	7月12日	講義・演習	ホール実習④/情報共有、報連相が出来る【定期テスト】	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
12	7月19日	講義・演習	ホール実習⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備レポート
13	8月23日	講義・演習	ホール実習⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集レポート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作方法を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作方法を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			自分の役割を理解し、積極的にコミュニケーションを取り、確認作業を怠らないよう心がける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	齋藤 慧
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	興行の企画及び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント - 一人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く  した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする  ・収集						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期の振り返り及び後期イベントの方針・確認ができるようになる	プレゼン資料の準備(レポート)
2	10月11日	講義・演習	WeareTSM VTR鑑賞 ・Weareの仕事と組織を理解できる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
3	10月18日	講義・演習	明日への扉 VTR鑑賞 ・明日への扉の仕事と組織を理解できる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
4	10月25日	講義・演習	WeareTSM 合同授業でチームを理解することができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	11月15日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 企画及び制作業務を学ぶ	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月22日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月29日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
8	12月6日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
9	12月13日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
10	12月20日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策) 休暇中の過ごし方・報告連絡相談の必要性について 理解する	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
11	1月17日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 合同授業を通しチーム作業を理解する	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
12	1月24日	講義・演習	後期イベントの振り返り及びテスト	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	1月31日	講義・演習	後期イベントの振り返り及びテストの振り返り	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(2) イベント企画B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作、イベント制作の業務に携わる。						
授業の学習 内容	①公演を行う準備の手順を知る。 ②学校イベントを制作するために必要な情報を収集し、資料を作成する。 イベント当日を滞りなく進めるために、仲間と協力しイベント全体を支える。 ③						
到達目標	チーム内、他セクションとのコミュニケーションを大切に、1つのイベントを作り上げる大変さや喜びを知る。 1 つ先のことを見据え、考えながら行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ワンマン①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集レポート
2	10月11日	講義・演習	ワンマン②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
3	10月18日	講義・演習	ワンマン③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
4	10月25日	講義・演習	ワンマン④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
5	11月15日	講義・演習	ワンマン⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備レポート
6	11月22日	講義・演習	ワンマン⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集レポート
7	11月29日	講義・演習	weare①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集レポート
8	12月6日	講義・演習	weare②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
9	12月13日	講義・演習	weare③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集レポート
10	12月20日	講義・演習	weare④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、RH準備レポート
11	1月17日	講義・演習	weare学内RH/本番資料を元に段取りが出来るとして【定期テスト】	資料作成(RH後修正作業、制作資料、運営資料)、情報収集レポート
12	1月24日	講義・演習	weare⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備レポート
13	1月31日	講義・演習	weare⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集レポート
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			自分の役割を理解し、積極的にコミュニケーションを取り、確認作業を怠らないよう心がける。	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	プロジェクトマネジメント(1) プロジェクトマネジメントA(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡慎太郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2016年より医学会・式典・その他各種イベントの制作を担当。						
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたらいい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作の基本的な知識を講義する						
到達目標	学生自らが考えながらイベントを企画・制作・運営できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	講義・演習	イントロダクション	ワークシート
2	5月8日	講義・演習	専門用語を理解する	ワークシート
3	5月15日	講義・演習	セット図について理解する	ワークシート
4	5月22日	講義・演習	イベントで良く出てくる「数」についてを理解する	ワークシート
5	5月29日	講義・演習	イベント制作を理解する	ワークシート
6	6月5日	講義・演習	運営マニュアルを理解する	ワークシート
7	6月19日	講義・演習	受付業務・サイン計画について理解する	ワークシート
8	6月26日	講義・演習	進行スタッフとその役割、台本制作を理解する	ワークシート
9	7月3日	講義・演習	客席の考え方について理解する	ワークシート
10	7月10日	講義・演習	スタッフパス・セキュリティについて理解する	ワークシート
11	7月17日	講義・演習	日程表について理解する	ワークシート
12	8月21日	講義・演習	(見やすい)資料作成について理解する	ワークシート
13	8月28日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月18日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(1) プロジェクトマネジメントB(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩谷千里
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	中央大卒。イルカオフィスから東芝EMI(現ユニバーサル)を経て、ドリカムのレーベルではプランナー、吉本R&Cでは制作宣伝統括本部長に就任。SSUでは大黒摩季のチーフマネージャーとライツ事業部長を兼務。マルチなスタンスでスポーツも手掛ける。					
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での基礎知識を学び、応用としてレコード会社やマネージメント会社との課外プロジェクトを実施。 ① マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ②ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ③レコード会社(宣伝/制作/販促) ④他(グッズ・FC会社/配信会社/TV及びYou Tube制作会社) 上記4業種の就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、実学学び、人間力を磨くことがゼミの目的。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Phase.1「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標</li> <li>■Phase.2「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標</li> <li>■Phase.3「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標</li> </ul> <p>前期は特にPhase.1の到達に力を入れ、社会人としての基本を修得することが目標</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	マネージャーの仕事・基礎編を理解する	報連相の重要性(レポート)
2	4月26日	講義・演習	ライブの仕事・基礎編を理解する	リアルライブとライブ配信の今後(レポート)
3	5月10日	講義・演習	レコード会社の仕事・基礎編を理解する	レコード会社をリサーチ(レポート)
4	5月17日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編①を理解する	EPICソニー・avex・日音をリサーチ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	ヒットの定義・基礎編を理解する	ヒット感の多様性(レポート)
6	6月7日	講義・演習	メディアの役割・基礎編を理解する	TVをメインにしたメディアの影響(レポート)
7	6月14日	講義・演習	マーケティングの役割・基礎編を理解する	メディアとSNSの接触率をデータ化(レポート)
8	6月21日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編②を理解する	EPICソニー・avex・日音の共通課題(レポート)
9	6月28日	講義・演習	プランニングの意味・基礎編を理解する	ツアープランニングと収支(レポート)
10	7月5日	講義・演習	ファンクラブの仕事・基礎編を理解する	FCの役割と今後(レポート)
11	7月12日	講義・演習	音楽事務所と芸能事務所の違いを理解する	音楽系と芸能系事務所の収支の軸(レポート)
12	7月19日	講義・演習	レコード会社の制宣伝販、そしてデジタルを理解する	A&Rの意味と配信(サブスク)ビジネス(レポート)
13	8月23日	講義・演習	ファンクラブ・グッズ会社とマネージメントの関係を理解する	FCの今後、キラコンテンツとVR(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(2) プロジェクトマネジメントA(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡慎太郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2016年より医学会・式典・その他各種イベントの制作を担当。						
授業の学習 内容	イベントは1つ1つ個性のあるものであるが、自身にとって新たな局面に直面した時に「わからない」ではなく「こうしたい」と自身で解決案を考えられるように、イベント制作の基本的な知識を講義する						
到達目標	学生自らが考えながらイベントを企画・制作・運営できるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	運営のCue、運営ディレクターを理解する	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	スケジュール管理を理解する①	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	スケジュール管理を理解する②	ワークシート
4	10月30日	講義・演習	スケジュール管理を理解する③	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	チェックリスト、ToDoリストについて理解する	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	リスク管理について理解する	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	収入と支出を理解する①	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	収入と支出を理解する②	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	広報を理解する	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	イベントの開催形式(現地開催・WEB開催)について理解する	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	企画書について理解する	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	スコープマネジメントを理解する	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(2) プロジェクトマネジメントB(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩谷千里
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	中央大卒。イルカオフィスから東芝EMI(現ユニバーサル)を経て、ドリカムのレーベルではプランナー、吉本R&Cでは制作宣伝統括本部長に就任。SSUでは大黒摩季のチーフマネージャーとライツ事業部長を兼務。マルチなスタンスでスポーツも手掛ける。					
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での基礎知識を学び、応用としてレコード会社やマネージメント会社との課外プロジェクトを実施。 ① マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ②ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ③レコード会社(宣伝/制作/販売) ④他(グッズ・FC会社/配信会社/TV及びYou Tube制作会社) 上記4業種の就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、実学学び、人間力を磨くことがゼミの目的。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Phase.1「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標</li> <li>■Phase.2「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標</li> <li>■Phase.3「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標</li> </ul> 後期は特にPhase.1からPhase.2/Phase3の到達できるように、社会人としての基本と現場力向上が目標。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	イベントを企画する・基礎編を理解できる	日本のFESをリサーチ(ワークシート)
2	10月11日	講義・演習	ライブツアーを企画する・基礎編を理解できる	6代都市ツアー工程表作成(ワークシート)
3	10月18日	講義・演習	ステージセッティング図&行程を作成・基礎編を理解でき	ステージにおける用語、記号を把握(ワークシート)
4	10月25日	講義・演習	業界ゲストを迎えてまなぶ	マネージャーを予定(質問事項の用意)(ワークシート)
5	11月15日	講義・演習	プロジェクト学習③を理解できる	ソニーグループ/avexグループ/TBSグループのリサーチ(ワークシート)
6	11月22日	講義・演習	アコースティック編成セッティングの体験を学ぶ	セッティング図の作成と現場でのセッティング体験(ワークシート)
7	11月29日	講義・演習	マネージャー＝プロデューサーの意味を理解できる	プロデューサーの仕事内容(ワークシート)
8	12月6日	講義・演習	TVメディアとメディアSNSの関係性を理解できる	影響力の番組のマーケティングと番組宣伝におけるSNS活用(ワークシート)
9	12月13日	講義・演習	イベント・ライブの収支を理解できる	イベント概要書作成と収支構造(ワークシート)
10	12月20日	講義・演習	グッズ製作と収支バランスを理解できる	原価とリークアップラインの計算と利益バランス(ワークシート)
11	1月17日	講義・演習	就活を考える(企業の絞り込み)・準備編を理解できる	音楽業界の企業、職種、エントリーの絞り込み(ワークシート)
12	1月24日	講義・演習	就職を考える(ES/履歴書の書き方)準備編を理解できる	勝てるES/履歴書の方程式(ワークシート)
13	1月31日	講義・演習	年間のゼミまとめ・発表を行うことを学ぶ	pptと口頭でプレゼン(ワークシート)
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原盤制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、ライブ制作、マネージメント、レコード会社との課授業を実施する。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学ぶことにより、業界というものを実際体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識、責任感を身につけることを目的とする。						
到達目標	①「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」の基礎的な事柄を確実にできることを目標とし、「社会で生きる力」をつけることを目標とする ②「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先回りをできる力」を外部で発揮できることを目標とする。 ③ 自身でアーティストをみつけ、学内外にプレゼンし、マネージメントすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽業界について理解する	後日レポート提出
2	4月27日	講義・演習	マネージャーの仕事について理解する	後日レポート提出
3	5月12日	講義・演習	レコード会社の仕事について理解する	後日レポート提出
4	5月18日	講義・演習	コンサートの仕事について理解する	後日レポート提出
5	6月1日	講義・演習	実践シミュレーション	仮想アーティストを立てて実際にシミュレーションをおこなう
6	6月8日	講義・演習	売れているアーティスト、ヒットの定義について考える	後日レポート提出
7	6月15日	講義・演習	ゲスト講義① A&R経験者の体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
8	6月22日	講義・演習	メディアの役割を理解する	後日レポート提出
9	6月29日	講義・演習	プランニングの重要性を理解する	後日レポート提出
10	7月6日	講義・演習	マネージメントというものを理解する	後日レポート提出
11	7月13日	講義・演習	プロフィールの資料、プレゼン資料について学ぶ	後日レポート提出
12	7月20日	講義・演習	自身で学内からアーティストを見つけてプレゼンする①	事前にスカウトし、これまで学んだことを実践しプレゼンする
13	8月24日	講義・演習	前期のまとめ	後日レポート提出
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、ライブ制作、マネージメント、レコード会社との課授業を実施する。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学ぶことにより、業界というものを実際体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識、責任感を身につけることを目的とする。						
到達目標	①「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」の基礎的な事柄を確実にできることを目標とし、「社会で生きる力」をつけることを目標とする ②「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先回りをできる力」を外部で発揮できることを目標とする。 ③ 自身でアーティストをみつけ、学内外にプレゼンし、マネージメントすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	自身で学内からアーティストを見つけてプレゼンする②	事前にスカウトし、これまで学んだことを実践しプレゼンする
2	10月12日	講義・演習	イベントを企画し、シミュレーションする	後日レポート提出
3	10月19日	講義・演習	ライブツアーを企画し、シミュレーションする	後日レポート提出
4	10月26日	講義・演習	ゲスト講義② ライブ制作経験者の体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
5	11月16日	講義・演習	著作権について理解する	後日レポート提出
6	11月23日	講義・演習	アーティストの権利について理解する	後日レポート提出
7	11月30日	講義・演習	プロダクションの収支について理解する	後日レポート提出
8	12月7日	講義・演習	ゲスト講義③ 音楽プロデューサーの体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
9	12月14日	講義・演習	コミュニケーションについて理解し、プレゼン能力を学ぶ	後日レポート提出
10	12月21日	講義・演習	既存のメディアとSNSでの宣伝方法の違いについて理解	後日レポート提出
11	1月11日	講義・演習	年間計画表を作成して戦略を立てる	後日レポート提出
12	1月18日	講義・演習	年間計画表を作成して発表 プレゼンし実践的なマネージメントを理解する	後日レポート提出
13	1月25日	講義・演習	全体のまとめ	後日レポート提出
14	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	2月22日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどのようなものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどのようなものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようにするのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく杳然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	音楽業界について全体を理解する	授業後読レポート課題
2	4月26日	講義・演習	レコード会社の業務について理解する	授業後読レポート課題
3	5月10日	講義・演習	プロダクションの業務について理解する	授業後読レポート課題
4	5月17日	講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	授業後読レポート課題
5	5月31日	講義・演習	レコーディング、楽曲制作の業務について理解する	授業後読レポート課題
6	6月7日	講義・演習	A&Rについて理解する	授業後読レポート課題
7	6月14日	講義・演習	プロモーターについて理解する	授業後読レポート課題
8	6月21日	講義・演習	販促について理解する	授業後読レポート課題
9	6月28日	講義・演習	マネージャーについて理解する	授業後読レポート課題
10	7月5日	講義・演習	プロデューサーについて理解する	授業後読レポート課題
11	7月12日	講義・演習	コンサート制作について理解する	授業後読レポート課題
12	7月19日	講義・演習	K-POPを中心とした海外アーティストの仕組みについて理解する	授業後読レポート課題
13	8月23日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	8月30日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月20日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原盤制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事があるかということを知り、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようにするのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標としている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期の授業を復習し、理解を深める	授業後読レポート課題
2	10月11日	講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	授業後読レポート課題
3	10月18日	講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	授業後読レポート課題
4	10月25日	講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	授業後読レポート課題
5	11月15日	講義・演習	インディーズの成功例を研究して、理解を深める	授業後読レポート課題
6	11月22日	講義・演習	ファンクラブについて理解する	授業後読レポート課題
7	11月29日	講義・演習	ミュージックビデオの制作について理解する	授業後読レポート課題
8	12月6日	講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作について理解する	授業後読レポート課題
9	12月13日	講義・演習	歌番組などのTVの流れについて理解する	授業後読レポート課題
10	12月20日	講義・演習	近年K-POPや、中国方面のワールドワイドのアーティスト	授業後読レポート課題
11	1月17日	講義・演習	実際に配信をリリースするには どのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする①	授業後読レポート課題
12	1月24日	講義・演習	実際に配信をリリースするには どのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする②	授業後読レポート課題
13	1月31日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	2月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	2月21日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Music Business IT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリーデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、基礎的な広告宣伝が行えるようなデザイン技術を、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Wordの基本操作ができるようになる。(文書作成) Excelの基本操作ができるようになる。(表計算) Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジェ曲線操作、デザイン中心)						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	PCに関する理解、ブラウザアプリ、メール設定、Word自己紹介作成	ツールを復習しながら自己紹介作成を進める(ワークシート)
2	4月29日	講義・演習	PCに関する理解②、クラウド利用、【Word】基礎技術習得	授業で学んだツールの復習をする(ワークシート)
3	5月6日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得、年間スケジュールを作成する	授業で学んだツールの復習をする、終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
4	5月13日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得、請求書を作成する 【Keynote】使い方を学ぶ	授業で学んだツールの復習をする、終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
5	5月20日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorのちがいを理解、基本操作を覚える	授業で学んだツールの復習をする、終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
6	6月3日	講義・演習	【Photoshop】選択範囲、レタッチ、フォトカラーズ	レタッチの復習をする(ワークシート)
7	6月10日	講義・演習	【Illustrator】ベジェ曲線と図形、フライヤー作成	次週続きから始められるように、考えを整える (ワークシート)
8	6月17日	講義・演習	【Photoshop】写真補正、拡大縮小、【Illustrator】フライヤー作成、地図作成	授業で学んだツールの復習をする、終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
9	6月24日	講義・演習	【Ps】【Ai】フライヤー作成(コンセプト～ラフ作成・色理解～提案)	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する(ワークシート)
10	7月1日	講義・演習	【Ps】【Ai】フライヤー作成(レイアウトデザイン～ブラッシュアップ) 完成	終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
11	7月8日	講義・演習	【Ps】【Ai】名刺作成1 ラフ制作、ブラッシュアップ、素材収集	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する(ワークシート)
12	7月15日	講義・演習	【Ps】【Ai】名刺作成2 デザイン作業 データ入稿ができるようになる	終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
13	8月26日	講義・演習	到達度テスト、解説	理解と技術の及ばなかった部分を復習する(ワークシート)
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	ワークシート
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac,Microsoft office,Adobe アプリケーション				

科目名	Music Business IT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中山 聡 高部 雄大
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	(中山)作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) (高部)音楽映像作家、テクノミュージック作家、過去に横浜アリーナWIRE10出演、学校関連の動画を全国的に担当					
授業の学習 内容	パソコンの進化により、今まではレコーディングスタジオでのみ出来た作業が簡単にできるようになりました。ライブ用にサイズ変更したり、ラジオの完パケやスポットも作成できます。以上をふまえてProToolsを使い、楽曲のサイズ変更をできるようにする。楽曲と効果音を使い、秒数指定のスポットを作成できるようにする。 パソコンの進化により、今まではレコーディングスタジオでのみ出来た作業が簡単にできるようになりました。ライブ用にサイズ変更したり、ラジオの完パケやスポットも作成できます。以上をふまえてProToolsを使い、楽曲のサイズ変更をできるようにする。楽曲と効果音を使い、秒数指定のスポットを作成できるようにする。 動画編集の基礎知識。主にAdobe Premiere Proを使用。将来動画関連の仕事に関わるイメージ想像。 動画編集への苦手意識改善。動画を絡めたビジネスへの興味関心向上。					
到達目標	ProToolsの基本的知識。ProTools上でオーディオを扱うことへの理解。 Adobe Premiere Proを使用し簡単な動画編集と書き出しを可能にする。 自分のビジネスと動画を絡める想像力。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	テレビデータ 素材の概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
2	10月14日	講義・演習	エディット画面の説明 エフェクトの概念を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
3	10月21日	講義・演習	演出効果の説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
4	10月28日	講義・演習	編集作業/書き出し方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
5	11月11日	講義・演習	音源の活用方法を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
6	11月18日	講義・演習	編集を理解する	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
7	11月25日	講義・演習	編集を完成させる	講義で作成したものを各自で作成(レポート)
8	12月2日	講義・演習	音声ファイルの種類、セッション作成、トラック作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
9	12月9日	講義・演習	ミキサー画面、エディット画面、各種ツールの機能、音源インポートを理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
10	12月16日	講義・演習	バウンス、エクスポート、マドレー作成を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
11	1月6日	講義・演習	波形分割、サイズ変更を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
12	1月13日	講義・演習	波形分割、サイズ変更(イレギュラーな楽曲)を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
13	1月20日	講義・演習	エフェクトの各種説明を理解する	講義で作成したものを各自で作成(ワークシート)
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して映像・音源制作の必要性、重要性を学ぶ	ワークシート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して映像・音源制作の必要性、重要性を学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器/機材知識(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習 内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オリエンテーション 楽器の種類 楽器の特徴を理解する	授業日と授業時間を把握する
2	4月28日	講義・演習	楽器の種類 楽器の特徴を述べられるようになる	楽器の種類 楽器の特徴を調べる
3	5月12日	講義・演習	DRUMSについて理解する	DRUMSとは何か調べる
4	5月19日	講義・演習	BassDrumについて理解する	BassDrumとは何か調べる
5	6月2日	講義・演習	SnareDrumについて理解する	SnareDrumとは何か調べる
6	6月9日	講義・演習	Hi-HATについて理解する	Hi-HATとは何か調べる
7	6月16日	講義・演習	Hi-HATStandについて理解する	Hi-HATStandとは何か調べる
8	6月23日	講義・演習	3点とFloorTomについて理解する	3点とFloorTomとは何か調べる
9	6月30日	講義・演習	Tom Tomについて理解する	Tom Tomとは何か調べる
10	7月7日	講義・演習	Cymbalについて理解する	Cymbalとは何か調べる
11	7月14日	講義・演習	DRUMS全体のセッティングについて理解する	DRUM全体のセッティングとは何か調べる
12	7月21日	講義・演習	DRUMSのメンテナンスについて理解する	DRUM全体のメンテナンスとは何か調べる
13	8月25日	講義・演習	前期テスト	レポート提出
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ	レポート提出
15	9月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してテックを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい		
【使用教科書・教材・参考書】				
教材 学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う				

科目名	楽器/機材知識(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習 内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材名称 構造等を身につけ、答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	電気について理解する	電気について調べる
2	10月13日	講義・演習	弦楽器について理解する	弦楽器について調べる
3	10月20日	講義・演習	GUITERについて理解する	GUITERについて調べる
4	10月27日	講義・演習	BASSについて理解する	BASSについて調べる
5	11月17日	講義・演習	AMPについて理解する	GUITERT・BASS AMPについて調べる
6	11月24日	講義・演習	トランジスターAMPについて理解する	トランジスターAMPについて調べる
7	12月1日	講義・演習	真空管AMPについて理解する	真空管AMPについて調べる
8	12月8日	講義・演習	鍵盤楽器について理解する	鍵盤楽器について調べる
9	12月15日	講義・演習	鍵盤楽器アコースティックについて理解する	鍵盤楽器アコースティックについて調べる
10	12月22日	講義・演習	鍵盤電気楽器について理解する	鍵盤電気楽器について調べる
11	1月12日	講義・演習	複数の鍵盤楽器のセッティングについて理解する	鍵盤電気楽器の種類について調べる
12	1月19日	講義・演習	多く楽器の特徴について理解する	全ての楽器の種類について調べる
13	1月26日	講義・演習	後期テスト	レポート
14	2月16日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ	レポート
15	2月23日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してテックを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい		
【使用教科書・教材・参考書】				
教材 学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う				

科目名	韓国語(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門 家課程 韓国料理講師						
授業の学習 内容	1・正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2. 日常生活の関連がある会話を身に付ける練習。 3. ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4. 基礎単語の暗記						
到達目標	1・ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話が身に付ける。 3. ハングル能力検定試験対策 4. 単語力をupする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	#5/6/7, lesson1-4 -입니다・否定	位置、家族、職業、指示詞、問題解く
2	4月30日	講義・演習	lesson5-7 있습니다, 합니다-します	場所、存在、本文暗記、問題解く
3	5月7日	講義・演習	lesson8-10 ~습니다. -이에요.	丁寧語、ヨ体、漢数詞、本文暗記
4	5月14日	講義・演習	lesson 11-14 数える、-아/어요	固有数字、ヘヨ体、問題解く
5	5月21日	講義・演習	lesson 15-19 -안, -못	固有数字、ヘヨ体、問題解く
6	5月28日	講義・演習	lesson 20-22-(으)세요/-(으)셨어요	否定文、不可能、過去形、本文暗記
7	6月4日	講義・演習	lesson 23-24	尊敬語、可能、本文暗記
8	6月18日	講義・演習	lesson 25 -(으)십시오, -아/여라	ㄹ不規則、ㅂ不規則、プリント
9	6月25日	講義・演習	lesson 26 -고, -아/어서	命令、本文暗記
10	7月2日	講義・演習	lesson27 -지만, -습니다만	羅列、理由、順次、作文
11	7月9日	講義・演習	中間試験	筆記試験、口頭試験
12	7月16日	講義・演習	lesson 28 -고 있다/-아/어 있다	進行形、状態の進行形
13	8月27日	講義・演習	lesson 29 -(으)면	仮定、条件
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集				

科目名	韓国語(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門 家課程 韓国料理講師						
授業の学習 内容	1・正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2. 日常生活のと関連がある会話を身に付ける練習。 3. ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4. 基礎単語の暗記						
到達目標	1・ネイティブ発音をイントネーションで話することができる。 2. 日常生活の会話が身に付ける。 3. ハングル能力検定試験対策 4. 単語力をupする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	lesson30	○変則, □変則、本文暗記
2	10月15日	講義・演習	lesson31 -고 싶다. 아/어도 되다	希望、許可、作文
3	10月22日	講義・演習	lesson32 -하십시오, -자	勧誘文、作文
4	10月29日	講義・演習	lesson33 -지 마세요/-지 마	禁止命令、作文
5	11月12日	講義・演習	lesson34 -아/어야 되다, -아/어야지	義務、作文、아/어体練習
6	11月19日	講義・演習	lesson35 -겠/-(으)ㄹ 거예요	意志、つもり、自分の計画、本文暗記
7	11月26日	講義・演習	lesson36 -ㄴ/은, -ㄴ/은	形容詞の連体形、プリント
8	12月3日	講義・演習	lesson37 -는, -있는/없는, -ㄹ/을	動詞や存在詞の連体形、プリント
9	12月10日	講義・演習	lesson38 ㄴ/은, -던, ㄴ/은 적이 있다	動詞の過去連体形、プリント
10	12月17日	講義・演習	lesson39 -아/어 주다, -아/어 드리다	願い、命令、期末試験練習
11	1月7日	講義・演習	期末試験	筆記試験、口頭試験
12	1月14日	講義・演習	lesson40 -아/어 보다/-아/어 두다	試みる、経験、-ておく
13	1月21日	講義・演習	動形ㄴ/은데요, 動는데요, 名인데요	前置き、背景の説明
14	1月28日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	学んだ内容の復習
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	学んだ内容の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集				

科目名	Planning Advance(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての立案知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての実践知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から日常の実務を習得する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを調査する事で音楽業界で就業する為の知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で音楽業界で即戦力となりうる為に必要な知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	時間の流れを企画する	レポート
2	4月29日	講義・演習	企画の基本を確認する	レポート
3	5月6日	講義・演習	企画の準備作業について理解する	レポート
4	5月13日	講義・演習	地域催事の企画立案を行う	地域で行われている年間催事の調査・レポート
5	5月20日	講義・演習	地域催事の企画立案を発表する	レポート
6	6月3日	講義・演習	野外フェスティバルの企画立案を行う	今年度開催される野外音楽フェスティバルの調査
7	6月10日	講義・演習	野外フェスティバルの企画立案を発表する	レポート
8	6月17日	講義・演習	ビジネスモデルと企画を理解する	レポート
9	6月24日	講義・演習	出演者をキャスティングするにはを理解する	音楽事業者協会と音楽制作者連盟についての調査を行う
10	7月1日	講義・演習	会場のタイプと仕組みを理解する	公益社団法人 全国公立文化施設協会についての調査を行う
11	7月8日	講義・演習	季節型催事の企画立案を行う	レジャー白書の調査
12	7月15日	講義・演習	季節型催事の企画立案を発表する	レポート
13	8月26日	講義・演習	企画と調査を理解する	レポート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Planning Advance(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画(プランニング)についての知識を用いて、プランニングの学習を行う [2] 音楽ビジネスの企画(プランニング)学習を通じてマーケットリサーチの学習を行う [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ヒットの仕組みを知る	昨年飛び出したヒットの研究レポート
2	10月14日	講義・演習	フェスティバル受けする出演者を知る	アーティストのランキングリスト作成
3	10月21日	講義・演習	同世代の企画を検証する	大学リストの作成
4	10月28日	講義・演習	全国の大学で開催されているイベント(学園祭)を調査する	学園祭イベント一覧調査レポート
5	11月11日	講義・演習	企画を通すには(プレゼンテーション技術)を学ぶ	TEDの研究レポート
6	11月18日	講義・演習	採用された企画を制作する(会議技法)	議事録ドリブン演習
7	11月25日	講義・演習	採用された企画を制作する(ガントチャートによる作業進行管理技法)	レポート
8	12月2日	講義・演習	予算の管理を考える	機材使用量の調査研究レポート
9	12月9日	講義・演習	プロモーションについて検証する(広告と広報)	CM好感度調査レポート
10	12月16日	講義・演習	企画における印刷媒体を理解する	新聞協会の研究レポート
11	1月6日	講義・演習	企画は流行を読むことから始まることを学ぶ	SMBCコンサルティングの資料を検証
12	1月13日	講義・演習	スポーツイベントのビジネスモデルを知る	東京オリンピック開催概要の調査
13	1月20日	講義・演習	依頼型企画の立案とプレゼン方法を学ぶ	企画立案資料の準備収集
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	(ワークシート)
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してプランニング力を学ぶ	(ワークシート)
準備学習 時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます		
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	コンサートテクニック(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見千尋 根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	興行の舞台監督び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。 チーム内&他セクションとのコミュニケーションを大切にして、やるべき事をチームで進めていくことが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	チーム編成、スケジュールの確認など イベント制作における必要物について学ぶ	チームのための資料作成(ワークシート)
2	4月27日	講義・演習	イベントの概念と概要書 主催について理解する	チームごとに担当イベントの概要書作成(ワークシート)
3	5月12日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの仕組み 次回イベントのミーティングを理解する	バンド イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
4	5月18日	講義・演習	ホール資料をもとに運営プランを考える 学内イベント対応を学ぶ	オムニバスLIVEの資料制作 (ワークシート)
5	6月1日	講義・演習	基本的な舞台知識について 舞台の機構や物の名称(照明)を理解する	舞台用語についての課題(ワークシート)
6	6月8日	講義・演習	外部ホールにおけるホールの使い方 舞台の流れ、段取りについて理解できる	外部ホールの構造理解 (ワークシート)
7	6月15日	講義・演習	イベントのタイムテーブルを理解する	課題イベントのタイムテーブル作成(ワークシート)
8	6月22日	講義・演習	外部ホールでの運営について イベントの企画立案について理解できる	外部ホールでの運営マニュアル作成(ワークシート)
9	6月29日	講義・演習	図面について(使い方、作成方法)を習得する	課題イベントの図面を作成する(ワークシート)
10	7月6日	講義・演習	外部ホールでの打ち合わせについて 次回イベントについてのミーティングを理解する	次回イベントの資料作成(ワークシート)
11	7月13日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング 本番の進行について 理解する	自由企画の資料を作成する(ワークシート)
12	7月20日	講義・演習	学内イベント対応/次回イベントについてミーティング リハーサルについて理解する	LIVEイベントの資料作成(ワークシート)
13	8月24日	講義・演習	定期テスト(舞台、運営について)	課題イベントの進行表を作成する(ワークシート)
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポート
15	9月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して運営業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江見千尋 根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	興行の舞台監督び制作等の活動を行う						
授業の学習 内容	舞台、イベントなどをより深く知るために実習作業を基本にして授業を進めていく。 自分自身の力でイベントを制作することにより、座学だけでは得ることの出来ない「気付き」を体感する。						
到達目標	イベント制作の知識を会得し、能動的に物事を動かすことができるようになる。 チーム内&他セクションとのコミュニケーションを大切にして、やるべき事をチームで進めていくことが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	スケジュールの確認など 前期の振り返り/次回イベントに関するミーティングを学ぶ	イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
2	10月12日	講義・演習	学内イベント対応 LIVEイベントのプロモーションについて理解できる	LIVEの事前ミーティング (ワークシート)
3	10月19日	講義・演習	企画のコンセプトについて考える事ができる	LIVEの資料作成 (ワークシート)
4	10月26日	講義・演習	イベントの動員について理解する	次回イベントの資料作成 (ワークシート)
5	11月16日	講義・演習	外部イベント対応/次回イベントについてミーティング 運営について…役割分担の重要性を理解する	イベント事前ミーティング(資料制作) (ワークシート)
6	11月23日	講義・演習	学内イベント対応 運営マニュアルの作成について理解する事ができる	進級制作展の運営マニュアル作成 (ワークシート)
7	11月30日	講義・演習	次回イベントについてのミーティング チケット業務についてを学ぶ	次回イベントの資料作成 (ワークシート)
8	12月7日	講義・演習	学内イベント対応 外部ライブハウスでの運営業務についてを理解する	オリジナルイベントの企画作成 (ワークシート)
9	12月14日	講義・演習	進級制作展の事前ミーティング方法を理解する	資料制作(制作資料・運営資料) (ワークシート)
10	12月21日	講義・演習	進級制作展 終了報告会を行うことができる	進級制作展 終了報告書 (ワークシート)
11	1月11日	講義・演習	進行台本を理解する事ができる	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料) (ワークシート)
12	1月18日	講義・演習	学内イベント対応 外部ホールでの運営業務について考える事ができる	次回外部ホールでのイベントの資料作成 (ワークシート)
13	1月25日	講義・演習	定期テスト(進行、制作、運営について)	資料制作(制作資料・運営資料・舞台資料) (ワークシート)
14	2月15日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して運営業務を学ぶ	レポート
15	2月22日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して運営業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(3) イベント企画A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	齋藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	興行の企画及び制作などの活動を行う						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMIには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション・業界の仕事を理解する	
2	4月26日	講義・演習	学園祭の仕事・組織・作業工程を理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月10日	講義・演習	企画と5W1H・学園祭の企画書の立案できるようになる	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月17日	講義・演習	学園祭の企画書に基づきゲストアーティストの選別 ・制作業務を理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	学園祭の企画書に基づきゲストアーティストの選別 ・制作業務 ・進捗報告と対策できるようになる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	6月7日	講義・演習	学園祭準備(進捗報告と対策を考案することができる)	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	6月14日	講義・演習	学園祭の反省会(バラン作業?)を通して仕事を理解する	レポート
8	6月21日	講義・演習	コンセプトとは(それぞれの立場からの狙い)を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月28日	講義・演習	プロジェクト管理と作業工程を知ることができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月5日	講義・演習	宣伝とマーケティングを理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月12日	講義・演習	後期イベントの仕事・組織 作業工程の確認及び説明ができるようになる	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月19日	講義・演習	前期の振り返り及びテスト	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月23日	講義・演習	前期講義の振り返り及びテストの振り返り	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(3) イベント企画B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作、イベント制作の業務に携わる。						
授業の学習 内容	①公演を行う準備の手順を知る。 ②学校イベントを制作するために必要な情報を収集し、資料を作成する。 ③イベント当日を滞りなく進めるために、仲間と協力しイベント全体を支える。						
到達目標	チーム内、他セクションとのコミュニケーションを大切にし、1つのイベントを作り上げる大変さや喜びを知る。 1つ先のことを見据え、考えながら行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	学園祭①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集 ワークシート
2	4月26日	講義・演習	学園祭②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
3	5月10日	講義・演習	学園祭③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
4	5月17日	講義・演習	学園祭④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
5	5月31日	講義・演習	学園祭⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備 ワークシート
6	6月7日	講義・演習	学園祭⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集 ワークシート
7	6月14日	講義・演習	学園祭報告会/チーム内外全ての出来事を把握する	資料整理(まとめ)、レポート提出 ワークシート
8	6月21日	講義・演習	ホール実習①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集 ワークシート
9	6月28日	講義・演習	ホール実習②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
10	7月5日	講義・演習	ホール実習③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
11	7月12日	講義・演習	ホール実習④/情報共有、報連相が出来る【定期テスト】	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集 ワークシート
12	7月19日	講義・演習	ホール実習⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備 ワークシート
13	8月23日	講義・演習	ホール実習⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集 ワークシート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			自分の役割を理解し、積極的にコミュニケーションを取り、確認作業を怠らないよう心がける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	齋藤慧
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	興行の企画及び制作を行う						
授業の学習 内容	講義テーマ: 気づきのあるエンターテインメント -人に”驚き・発見・感動”を与える- 受け取った人が心を震わせ、何かを感じ、心の中から何か沸き起こり、笑顔に変わる その感情こそが「気づき」であり、エンターテインメントが提供できる「価値」でありたいと考える TSMIには学校を代表する伝統的なイベントが3つあります。 本講義では、3つのイベント運営を通して、<問題定義・課題設定・イベント遂行・グループワーク>など 実務的な知識を深め、どの業界でも通用する現場力・応用力をつける講義を目指します。						
到達目標	自発的な行動力を身につける ・些細な事でも必要な情報は自分から取りに行く ・収集 した情報を整理する ・確認(報告)、連絡、報告(カク(ホウ)レンボウ)を意識する ・評価をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期の振り返り及び後期イベントの方針・確認ができるようになる	プレゼン資料の準備(レポート)
2	10月11日	講義・演習	WeareTSM VTR鑑賞 ・Weareの仕事と組織を理解できる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
3	10月18日	講義・演習	明日への扉 VTR鑑賞 ・明日への扉の仕事と組織を理解できる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
4	10月25日	講義・演習	WeareTSM 合同授業でチームを理解することができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	11月15日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 企画及び制作業務を学ぶ	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月22日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月29日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
8	12月6日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
9	12月13日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策)をすることができる	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
10	12月20日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 準備作業(進捗報告と対策) 休暇中の過ごし方・報告連絡相談の必要性について 理解する	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
11	1月17日	講義・演習	Weare TSM&明日への扉 合同授業を通しチーム作業を理解する	WeareTSM・明日への扉の 企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
12	1月24日	講義・演習	後期イベントの振り返り及びテスト	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	1月31日	講義・演習	後期イベントの振り返り及びテストの振り返り	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの企画を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント企画(4) イベント企画B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	根本優子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台制作、イベント制作の業務に携わる。						
授業の学習 内容	①公演を行う準備の手順を知る。 ②学校イベントを制作するために必要な情報を収集し、資料を作成する。 ③イベント当日を滞りなく進めるために、仲間と協力しイベント全体を支える。						
到達目標	チーム内、他セクションとのコミュニケーションを大切に、1つのイベントを作り上げる大変さや喜びを知る。 1つ先のことを見据え、考えながら行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ワンマン①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集
2	10月11日	講義・演習	ワンマン②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集
3	10月18日	講義・演習	ワンマン③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集
4	10月25日	講義・演習	ワンマン④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集
5	11月15日	講義・演習	ワンマン⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備
6	11月22日	講義・演習	ワンマン⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集
7	11月29日	講義・演習	weare①/チーム編成、スケジュール確認	資料作成(組織図)、情報収集
8	12月6日	講義・演習	weare②/チーム内でコミュニケーションを取り役割を理解する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集
9	12月13日	講義・演習	weare③/必要資料が何かを考え、作成する	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集
10	12月20日	講義・演習	weare④/情報共有、報連相が出来る	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、RH準備
11	1月17日	講義・演習	weare学内RH/本番資料を元に段取りが出来ると【定期テスト】	資料作成(RH後修正作業、制作資料、運営資料)、情報収集
12	1月24日	講義・演習	weare⑤/イベント制作における必要物(備品)を考える	資料作成(制作資料、運営資料)、情報収集、備品準備
13	1月31日	講義・演習	weare⑥/最終確認、イベント流れの把握ができています	マニュアル作成、情報収集
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントの制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			自分の役割を理解し、積極的にコミュニケーションを取り、確認作業を怠らないよう心がける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩谷千里
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	中央大卒。イルカオフィスから東芝EMI(現ユニバーサル)を経て、ドリカムレーベルではプランナー、吉本R&Cでは制作宣伝統括本部長に就任。SSUでは大黒摩季のチーフマネージャーとライツ事業部長を兼務。マルチなスタンスでスポーツも手掛ける。					
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での基礎知識を学び、応用としてレコード会社やマネージメント会社との課外プロジェクトを実施。 ① マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ② ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ③ レコード会社(宣伝/制作/販促) ④ 他(グッズ・FC会社/配信会社/TV及びYou Tube制作会社) 上記4業種の就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、実学学び、人間力を磨くことがゼミの目的。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Phase.1「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標</li> <li>■Phase.2「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標</li> <li>■Phase.3「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標</li> </ul> <p>前期は特にPhase.1の到達に力を入れ、社会人としての基本を修得することが目標</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	マネージャーの仕事・基礎編を理解する	報連相の重要性(レポート)
2	4月26日	講義・演習	ライブの仕事・基礎編を理解する	リアルライブとライブ配信の今後(レポート)
3	5月10日	講義・演習	レコード会社の仕事・基礎編を理解する	レコード会社をリサーチ(レポート)
4	5月17日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編①を理解する	EPICソニー・avex・日音をリサーチ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	ヒットの定義・基礎編を理解する	ヒット感の多様性(レポート)
6	6月7日	講義・演習	メディアの役割・基礎編を理解する	TVをメインにしたメディアの影響(レポート)
7	6月14日	講義・演習	マーケティングの役割・基礎編を理解する	メディアとSNSの接触率をデータ化(レポート)
8	6月21日	講義・演習	プロジェクト学習・基礎編②を理解する	EPICソニー・avex・日音の共通課題(レポート)
9	6月28日	講義・演習	プランニングの意味・基礎編を理解する	ツアープランニングと収支(レポート)
10	7月5日	講義・演習	ファンクラブの仕事・基礎編を理解する	FCの役割と今後(レポート)
11	7月12日	講義・演習	音楽事務所と芸能事務所の違いを理解する	音楽系と芸能系事務所の収支の軸(レポート)
12	7月19日	講義・演習	レコード会社の制宣伝販、そしてデジタルを理解する	A&Rの意味と配信(サブスク)ビジネス(レポート)
13	8月23日	講義・演習	ファンクラブ・グッズ会社とマネージメントの関係を理解する	FCの今後、キラコンコンテンツとVR(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩谷千里
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	中央大卒。イルカオフィスから東芝EMI(現ユニバーサル)を経て、ドリカムのレーベルではプランナー、吉本R&Cでは制作宣伝統括本部長に就任。SSUでは大黒摩季のチーフマネージャーとライツ事業部長を兼務。マルチなスタンスでスポーツも手掛ける。					
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での基礎知識を学び、応用としてレコード会社やマネージメント会社との課外プロジェクトを実施。 ① マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ②ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ③レコード会社(宣伝/制作/販売) ④他(グッズ・FC会社/配信会社/TV及びYou Tube制作会社) 上記4業種の就職に向けて、学校内外で学び、早い段階で業界を体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識(責任感)を身につける。仕事内容、必要とされる知識、現場でのフットワーク、実学学び、人間力を磨くことがゼミの目的。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Phase.1「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」が確実にできることが目標</li> <li>■Phase.2「報連相」「pptでの提案・企画書作り」「発言力」が普通にできることが目標</li> <li>■Phase.3「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先を読む力」が外部プロジェクトで発揮できることが目標</li> </ul> 後期は特にPhase.1からPhase.2/Phase3の到達できるように、社会人としての基本と現場力向上が目標。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	イベントを企画する・基礎編を理解できる	日本のFESをリサーチ(ワークシート)
2	10月11日	講義・演習	ライブツアーを企画する・基礎編を理解できる	6代都市ツアー工程表作成(ワークシート)
3	10月18日	講義・演習	ステージセッティング図&行程を作成・基礎編を理解でき	ステージにおける用語、記号を把握(ワークシート)
4	10月25日	講義・演習	業界ゲストを迎えてまなぶ	マネージャーを予定(質問事項の用意)(ワークシート)
5	11月15日	講義・演習	プロジェクト学習③を理解できる	ソニーグループ/avexグループ/TBSグループのリサーチ(ワークシート)
6	11月22日	講義・演習	アコースティック編成セッティングの体験を学ぶ	セッティング図の作成と現場でのセッティング体験(ワークシート)
7	11月29日	講義・演習	マネージャー＝プロデューサーの意味を理解できる	プロデューサーの仕事内容(ワークシート)
8	12月6日	講義・演習	TVメディアとメディアSNSの関係性を理解できる	影響力の番組のマーケティングと番組宣伝におけるSNS活用(ワークシート)
9	12月13日	講義・演習	イベント・ライブの収支を理解できる	イベント概要書作成と収支構造(ワークシート)
10	12月20日	講義・演習	グッズ製作と収支バランスを理解できる	原価とリークアップラインの計算と利益バランス(ワークシート)
11	1月17日	講義・演習	就活を考える(企業の絞り込み)・準備編を理解できる	音楽業界の企業、職種、エントリーの絞り込み(ワークシート)
12	1月24日	講義・演習	就職を考える(ES/履歴書の書き方)準備編を理解できる	勝てるES/履歴書の方程式(ワークシート)
13	1月31日	講義・演習	年間のゼミまとめ・発表を行うことを学ぶ	pptと口頭でプレゼン(ワークシート)
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	プロダクション実務(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原盤制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、ライブ制作、マネージメント、レコード会社との課授業を実施する。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学ぶことにより、業界というものを実際体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識、責任感を身につけることを目的とする。						
到達目標	①「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」の基礎的な事柄を確実にできることを目標とし、「社会で生きる力」をつけることを目標とする ②「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先回りをできる力」を外部で発揮できることを目標とする。 ③ 自身でアーティストをみつけ、学内外にプレゼンし、マネージメントすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	音楽業界について理解する	後日レポート提出
2	4月27日	講義・演習	マネージャーの仕事について理解する	後日レポート提出
3	5月12日	講義・演習	レコード会社の仕事について理解する	後日レポート提出
4	5月18日	講義・演習	コンサートの仕事について理解する	後日レポート提出
5	6月1日	講義・演習	実践シミュレーション	仮想アーティストを立てて実際にシミュレーションをおこなうワークシート
6	6月8日	講義・演習	売れているアーティスト、ヒットの定義について考える	後日レポート提出
7	6月15日	講義・演習	ゲスト講義① A&R経験者の体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
8	6月22日	講義・演習	メディアの役割を理解する	後日レポート提出
9	6月29日	講義・演習	プランニングの重要性を理解する	後日レポート提出
10	7月6日	講義・演習	マネージメントというものを理解する	後日レポート提出
11	7月13日	講義・演習	プロフィールの資料、プレゼン資料について学ぶ	後日レポート提出
12	7月20日	講義・演習	自身で学内からアーティストを見つけプレゼンする①	事前にスカウトし、これまで学んだことを実践しプレゼンするワークシート
13	8月24日	講義・演習	前期のまとめ	後日レポート提出
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月21日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクション実務(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原盤制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多くな手がける。						
授業の学習 内容	音楽業界で即戦力として働く上での、基礎知識を学び、ライブ制作、マネージメント、レコード会社との課授業を実施する。 ・マネージメント(音楽プロダクション/芸能プロダクション) ・ライブ関連(ライブ制作会社/イベンター) ・レコード会社(宣伝/制作/販促) 上記3つの業種への就職に向けて、学校内外で学ぶことにより、業界というものを実際体験することで「考える力・発言する力」を養い、協調性と当事者意識、責任感を身につけることを目的とする。						
到達目標	①「礼儀」「プレゼン能力」「資料作成」の基礎的な事柄を確実にできることを目標とし、「社会で生きる力」をつけることを目標とする ②「コミュニケーション力」「積極性・自主性」「先回りをできる力」を外部で発揮できることを目標とする。 ③ 自身でアーティストをみつけ、学内外にプレゼンし、マネージメントすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
2	10月12日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
3	10月19日	講義・演習	自身で学内からアーティストを見つけてプレゼンする②	事前にスカウトし、これまで学んだことを実践しプレゼンする
4	10月26日	講義・演習	イベントを企画し、シミュレーションする	後日レポート提出
5	11月16日	講義・演習	ライブツアーを企画し、シミュレーションする	後日レポート提出
6	11月23日	講義・演習	ゲスト講義② ライブ制作経験者の体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
7	11月30日	講義・演習	著作権について理解する	後日レポート提出
8	12月7日	講義・演習	アーティストの権利について理解する	後日レポート提出
9	12月14日	講義・演習	プロダクションの収支について理解する	後日レポート提出
10	12月21日	講義・演習	ゲスト講義③ 音楽プロデューサーの体験談	後日レポート提出 質問表の事前作成
11	1月11日	講義・演習	コミュニケーションについて理解し、プレゼン能力を学ぶ	後日レポート提出
12	1月18日	講義・演習	既存のメディアとSNSでの宣伝方法の違いについて理解する	後日レポート提出
13	1月25日	講義・演習	年間計画表を作成して戦略を立てる	後日レポート提出
14	2月15日	講義・演習	年間計画表を作成して発表 プレゼンし実践的なマネージメントを理解する	後日レポート提出
15	2月22日	講義・演習	全体のまとめ	後日レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリーデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	ショービジネスでは、広告宣伝ツールの多様さ、スピード、独自性が重要になっている。 この科目の受講者自身には広告宣伝に使えるオリジナル作品を作れる、デジタルクリエイターとしての役割を担えるようになってもらいたいと考える。 講義では、制作のための知識を学び、すでに基本を習得済みのアプリケーション操作を複合的に扱えるように演習を中心に応用を習得する。						
到達目標	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe inDesign、その他デザイン系Webアプリを用途に応じて、複合的に扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	【Ps】【Ai】基礎演習・自己紹介フライヤー、名刺制作。各アプリケーションの機能の復習と応用。	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
2	4月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】基礎演習・名刺制作。作成したデータを印刷会社に入稿できる。	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
3	5月7日	講義・演習	【Ps】【Ai】ロゴのデザイン。文字に意味を持たせるための情報の収集、アイデア出し。	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
4	5月14日	講義・演習	【Ps】【Ai】ロゴのデザイン。制作、完成。ポートフォリオ表紙デザイン	ポートフォリオの形を調べて用意する (ワークシート)
5	5月21日	講義・演習	【Ps】【Ai】ポートフォリオテンプレート制作	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
6	5月28日	講義・演習	【iD】inDesignを扱えるようになる。テンプレート制作	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
7	6月4日	講義・演習	【iD】【Ps】【Ai】inDesignを扱えるようになる。ファンブック制作	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
8	6月18日	講義・演習	【iD】【Ps】【Ai】inDesignを扱えるようになる。ファンブック制作	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
9	6月25日	講義・演習	【iD】【Ps】【Ai】inDesignを扱えるようになる。ファンブック制作、完成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
10	7月2日	講義・演習	【Ps】【Ai】オリジナルイラストレーションの作成	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
11	7月9日	講義・演習	【Ps】【Ai】GIFアニメーション制作	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
12	7月16日	講義・演習	【Ps】【Ai】オリジナルLINEスタンプ作成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
13	8月27日	講義・演習	到達度テスト、作品プレゼン、解説・講評	講評を受けて修正が必要な部分を再制作する (ワークシート)
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗などで雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みを考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac, Adobe アプリケーション				

科目名	Design Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	ショービジネスでは、広告宣伝ツールの多様さ、スピード、独自性が重要になっている。 この科目の受講者自身には広告宣伝に使えるオリジナル作品を作れる、デジタルクリエイターとしての役割を担えるようになってもらいたいと考える。 講義では、制作のための知識を学び、すでに基本を習得済みのアプリケーション操作を複合的に扱えるように演習を中心に応用を習得する。						
到達目標	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe inDesign、その他デザイン系Webアプリを用途に応じて、複合的に扱えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	【Ps】【Ai】ポートフォリオ加筆。各アプリケーションの機能の復習と応用。	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
2	10月15日	講義・演習	【STUDIO】ノーコードWebデザインができるようになる	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
3	10月22日	講義・演習	【Ps】【Ai】【STUDIO】ポートフォリオサイト制作	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
4	10月29日	講義・演習	【Ps】【Ai】【STUDIO】ポートフォリオサイト制作	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
5	11月12日	講義・演習	【Ps】【Ai】【STUDIO】ポートフォリオサイト制作、完成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
6	11月19日	講義・演習	実際に公募されているデザインコンペに応募してデザイン制作を学ぶ①	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
7	11月26日	講義・演習	コンペ用デザイン制作②複合的にデザインアプリを扱えるようになる	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
8	12月3日	講義・演習	コンペ用デザイン制作③複合的にデザインアプリを扱えるようになる	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
9	12月10日	講義・演習	コンペ用デザイン制作④完成 複合的にデザインアプリを扱えるようになる	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
10	12月17日	講義・演習	【VRoidStudio】3Dデザインに触れる	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
11	1月11日	講義・演習	複合的にデザインアプリを扱う ポートフォリオ表紙制作、内容編集	制作に必要な資料、データの収集 (ワークシート)
12	1月14日	講義・演習	複合的にデザインアプリを扱う ポートフォリオ制作印刷完成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
13	1月21日	講義・演習	到達度テスト、作品プレゼン、解説・講評	講評を受けて修正が必要な部分を再制作する (ワークシート)
14	1月28日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗などで雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みを考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac, Adobe アプリケーション				

科目名	WEB制作(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISAO
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件等の活動を行う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、WEB制作を学びます。WEB制作の知識は、単にHPを作る用途にとどまらず、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を助けます。これからの生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	WEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 自分自身をアピール・周知してもらう場所を、自分の手で作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	パソコンとWEBの根本的な仕組み・WEBの活用法について学ぶ	好きなWEBページを見つけ、活用のを考察する。(レポート)
2	4月28日	講義・演習	どういった情報をどう伝えたいか、情報の整理とデザイン(設計)について学ぶ。	自分の持っている情報をリストアップし、分類する。(レポート)
3	5月12日	講義・演習	WEB制作環境と、各ツールの役割を理解し、WEBを公開する全体的な流れを学ぶ。	ツールに触れて、設定をカスタマイズする。(レポート)
4	5月19日	講義・演習	言語(HTML/CSS)の役割と構文を理解する。	HTMLとCSSの違いを説明できるようにする。(レポート)
5	6月2日	講義・演習	HTMLで使われるタグ(h1,div,p など)の種類を学び、実際に書く。	タグの種類を大まかに覚える。(レポート)
6	6月9日	講義・演習	CSSで出来る表現を学び、実際に書く。	制作するページの原稿を書く。(レポート)
7	6月16日	講義・演習	HTMLとCSSを使い、簡単な構成のページを作る。(1)	制作するページに必要な画像を用意する(レポート)
8	6月23日	講義・演習	HTMLとCSSを使い、簡単な構成のページを作る。(2)	授業で作ったページをカスタマイズして構成を変更する。(レポート)
9	6月30日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(1)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
10	7月7日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(2)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
11	7月14日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(3)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
12	7月21日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(4)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
13	8月25日	講義・演習	テスト	自分なりのWEBの利用方法についてのレポート
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
15	9月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			日常で見ているHPの内容を把握し、自身でもコーディングをしてみる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ISAO
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件等の活動を行う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、WEB制作を学びます。WEB制作の知識は、単にHPを作る用途にとどまらず、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を助けます。これからは生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	WEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 自分自身をアピール・周知してもらう場所を、自分の手で作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	動的なCSSについて理解する	動的なWEBページを見つけ考察(ワークシート)
2	10月13日	講義・演習	動的なCSSを使ってページを作成する	環境によって見た目の変わるページを見つけ考察(ワークシート)
3	10月20日	講義・演習	レスポンシブデザインを理解する	見た目が変わった時の各機能の違いを見つけ考察(レポート)
4	10月27日	講義・演習	レスポンシブなページを作成する(1)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
5	11月17日	講義・演習	レスポンシブなページを作成する(2)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
6	11月24日	講義・演習	外部サービスの埋め込みをする	外部サービスに自分のアカウントを設ける。(レポート)
7	12月1日	講義・演習	BASIC認証を設置する	既存ページに掲載されている情報を原稿データで用意する(レポート)
8	12月8日	講義・演習	情報の分類と整理について理解する	サイトマップを作成する(レポート)
9	12月15日	講義・演習	デザインについて理解する	掲載する情報の表現方法を割り当て設計図を完成させる(レポート)
10	12月22日	講義・演習	WEBの活用方法について理解する	既存ページがどのように広報されているかを調査考察(レポート)
11	1月12日	講義・演習	SNSの役割と、それとの連携について理解する	WEBとSNSを組み合わせた情報発信アイデアを考える(レポート)
12	1月19日	講義・演習	各役割を理解し、活用方法を設計する	エンドユーザーを意識した情報の導線を引く(レポート)
13	1月26日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
15	2月23日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像制作Advance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒谷治
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	広告・イベント・教育映像等の企画制作を行う。						
授業の学習 内容	Premiere Pro、AfterEffects等を用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	PremierePro・AfterEffectsの学習を通して、映像制作に必要な基礎技術を理解する。 学習した技術を活用し、ツール間の連携を用いての制作フローを習得し、 生徒自身が表現したいオリジナル作品の制作が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	Premireの基本的な使い方を理解・復習する。	シラバスを確認しておく(レポート)
2	4月28日	講義・演習	After Effects 基礎(1)。 パネルの意味や使い方、素材の読み込みを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
3	5月12日	講義・演習	After Effects 基礎(2)。 キーフレームを使ったアニメーションを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
4	5月19日	講義・演習	After Effects 基礎(3)。 より複雑なアニメーションの制作方法を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
5	6月2日	講義・演習	After Effects 基礎(4)。 合成や簡単なエフェクトの使い方を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
6	6月9日	講義・演習	After Effects 応用(1)。 モーショングラフィックスの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
7	6月16日	講義・演習	After Effects 応用(2)。 タイポグラフィーの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
8	6月23日	講義・演習	After Effects 応用(3)。 実写合成の基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
9	6月30日	講義・演習	After Effects 応用(4)。 モーショングラフィックスと実写合成を連携する。	先週の復習・本日の予習(レポート)
10	7月7日	講義・演習	オリジナル作品の選定及び絵コンテ作成	製作したい映像を選定する(レポート)
11	7月14日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
12	7月21日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
13	8月25日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
15	9月22日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像制作Advance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒谷治
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	広告・イベント・教育映像等の企画制作を行う。						
授業の学習 内容	Premiere Pro、AfterEffects等を用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	PremierePro・AfterEffectsの学習を通して、映像制作に必要な基礎技術を理解する。 学習した技術を活用し、ツール間の連携を用いての制作フローを習得し、 生徒自身が表現したいオリジナル作品の制作が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	Premireの基本的な使い方を理解・復習する。	シラバスを確認しておく(レポート)
2	10月13日	講義・演習	After Effects 基礎(1)。 パネルの意味や使い方、素材の読み込みを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
3	10月20日	講義・演習	After Effects 基礎(2)。 キーフレームを使ったアニメーションを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
4	10月27日	講義・演習	After Effects 基礎(3)。 より複雑なアニメーションの制作方法を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
5	11月17日	講義・演習	After Effects 基礎(4)。 合成や簡単なエフェクトの使い方を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
6	11月24日	講義・演習	After Effects 応用(1)。 モーショングラフィックスの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
7	12月1日	講義・演習	After Effects 応用(2)。 タイポグラフィーの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
8	12月8日	講義・演習	After Effects 応用(3)。 実写合成の基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
9	12月15日	講義・演習	After Effects 応用(4)。 モーショングラフィックスと実写合成を連携する。	先週の復習・本日の予習(レポート)
10	12月22日	講義・演習	オリジナル作品の選定及び絵コンテ作成	製作したい映像を選定する(レポート)
11	1月12日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
12	1月19日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
13	1月28日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
14	2月16日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
15	2月23日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	音楽ビジネスA&R概論(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどのようなものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどのようなものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようにするのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく杳然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	音楽業界について全体を理解する	授業後読レポート課題
2	4月26日	講義・演習	レコード会社の業務について理解する	授業後読レポート課題
3	5月10日	講義・演習	プロダクションの業務について理解する	授業後読レポート課題
4	5月17日	講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	授業後読レポート課題
5	5月31日	講義・演習	レコーディング、楽曲制作の業務について理解する	授業後読レポート課題
6	6月7日	講義・演習	A&Rについて理解する	授業後読レポート課題
7	6月14日	講義・演習	プロモーターについて理解する	授業後読レポート課題
8	6月21日	講義・演習	販促について理解する	授業後読レポート課題
9	6月28日	講義・演習	マネージャーについて理解する	授業後読レポート課題
10	7月5日	講義・演習	プロデューサーについて理解する	授業後読レポート課題
11	7月12日	講義・演習	コンサート制作について理解する	授業後読レポート課題
12	7月19日	講義・演習	K-POPを中心とした海外アーティストの仕組みについて理解する	授業後読レポート課題
13	8月23日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	8月30日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月20日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原盤制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。 木梨壽武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多く手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどのようなものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどのようなものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようにするのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期の授業を復習し、理解を深める	授業後読レポート課題
2	10月11日	講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	授業後読レポート課題
3	10月18日	講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	授業後読レポート課題
4	10月25日	講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	授業後読レポート課題
5	11月15日	講義・演習	インディーズの成功例を研究して、理解を深める	授業後読レポート課題
6	11月22日	講義・演習	ファンクラブについて理解する	授業後読レポート課題
7	11月29日	講義・演習	ミュージックビデオの制作について理解する	授業後読レポート課題
8	12月6日	講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、 アルバムジャケット)の制作について理解する	授業後読レポート課題
9	12月13日	講義・演習	歌番組などのTVの流れについて理解する	授業後読レポート課題
10	12月20日	講義・演習	近年K-POPや、中国方面のワールドワイドのアーティストが増える中、 そこに関わるビジネスについて理解する	授業後読レポート課題
11	1月17日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、 シミュレーションする①	授業後読レポート課題
12	1月24日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、 シミュレーションする②	授業後読レポート課題
13	1月31日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	2月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	2月21日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				